

# 令和5年度 全国食生活改善大会号



令和5年9月6日に全国食生活改善大会並びに第53回全国食生活改善推進員協議会大会があきた芸術劇場ミルハスで開催されました。

大仙市健康福祉部  
健康増進センター  
令和5年12月発行

秋田県大会は、コロナ禍による延期・中止を経ての4年越しの開催となりました。

全国から総勢約840名の会員が参加し、会場はピンク一色に染まり、会場には一体感が生まれました。大仙市からは大会前日の食事会に支部長6名、大会当日は79名と多くの推進員が参加しました。

全国の推進員が集結し、活気が感じられる大会となりました。



## 《午前の部》

【第1部】は 事例研究大会が行われました。「私達の地区組織活動」をテーマに、全国の代表者4名から自らの協議会の活動状況についての報告がありました。

事例のひとつを  
紹介します

### 兵庫県太子町 の事例発表

太子町では「トライやるウィーク」と呼ばれる、中学2年生が1週間学校を離れて地域で学ぶ活動があり、太子町協議会では1週間、生徒を受け入れて食の大切さ知ってもらうきっかけづくりを行っています。

その活動の中で、防災教育の一貫として缶詰や乾燥物などの保存食を利用した※パッククッキングの実習を行い、「ツナじゃが」「きのこのみそ汁」等を作りました。また、SDGsの目標の一つでもある「食品ロスの削減」について、生徒が考案し、推進員が添削したレシピの調理実習を行い、普段捨ててしまう野菜の皮や芯まで使うだけでなく、地産地消を意識したメニューが出来上がりました。

※パッククッキング  
耐熱性のポリ袋に  
食材を入れ、袋の  
まま鍋で湯煎する  
調理方法。

裏面に続く



## お昼休憩

大仙市協議会は支部長さんをはじめ各支部から2名ずつ、お弁当配布の係を担当しました。

【お弁当】秋田県の食材を活用したお弁当が出されました。

お弁当の包み紙も、なまはげや竿灯などがプリントされた秋田ならではの楽しいデザインでした。



【展示・物販】郷土料理の展示や、秋田県の特産品や日本食生活協会のテキストなどの物販コーナーがあり、大変賑わっていました。

## 《午後の部》

【第2部】は式典が行われ、高円宮妃殿下のビデオメッセージをはじめ、来賓の方々から活動への激励をいただき、ボランティア活動の重要性を再認識しました。式典の後半では、厚生労働大臣表彰、南・賀屋賞の表彰授与が行われました。

【第3部】のアトラクションでは、音打屋-OTODAYA-による「なまはげ太鼓」のパフォーマンスが行われ、パワフルで力強い演奏に会場全体が大いに盛り上がりました。

最後に次回開催県の福島県協議会の挨拶が行われ、大盛況のうちに閉会となりました。



全国大会が秋田県で初めての開催となり、全国から大変多くの推進員が一同に会する貴重な機会となりました。改めて県内外にもたくさんの仲間がいることを実感し、皆さまのボランティア活動の励みになったことと思います。参加された推進員の皆さま、朝早くから夕方まで大変お疲れ様でした。